

103-185

問題文

てんかんとその治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 脳に器質的な損傷があるために起こる症候性てんかんと、脳に明確な障害がなく原因が特定できない特発性てんかんがある。
2. 単純部分発作は意識消失を起こす。
3. 欠神発作は、身体の一部が瞬間的に強く収縮する発作で、意識障害を認める。
4. てんかんの診断には、脳波検査よりもCTやMRIなどによる頭部画像検査が有用である。
5. 原発性てんかん患者において抗てんかん薬を中止するには、2年間以上の発作消失が必要である。

解答

1, 5

解説

選択肢 1 は、正しい記述です。

選択肢 2 ですが

てんかんの発作は、意識消失の有無・程度により 次の3つに分類されます。「部分発作（意識消失なし）、欠神（けっしん）発作（数秒間意識消失）、強直間代発作（数分程度の意識消失）」単純部分発作は意識消失を起こさない発作です。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

てんかんの発作は、大きく 部分発作と、全般発作に 分類することもあります。

欠神発作は、全般性発作の一つです。意識消失し、けいれん等は おきないタイプの発作です。「身体の一部 が瞬間的に強く収縮する発作」 という記述が明らかに誤りです。

選択肢 4 ですが

てんかんの診断では 脳波検査が最も有用な検査です。 よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。

本試験時、ガイドラインにおいて「2年以上発作が寛解してから 治療終結を考慮する」とあります。

以上より、正解は 1,5 です。